

ウェルび～な通信

第2号

～ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト～

第2回 海老名市自立支援協議会 報告

今年度2回目となる海老名市自立支援協議会が10月9日（金）に、ビナレッジで開催されました。主な内容について、報告をいたします。

【チーム活動報告】

○育つ・学ぶ

放課後支援についてのアンケートの集計作業中。次回、自立支援協議会で詳細を報告予定。放課後等デイサービス事業所が増えてきており、事業所間の連携が課題。事業所連絡会の発足も検討している。

○暮らす

東部地区民生児童委員会との合同研修会（情報交換会）を1月に開催予定。準備、調整を行っている。

○活動する・遊ぶ

ボランティア活動が活性化されるよう、冊子を作成中。最終調整の段階に入っている。

○働く

企業向けアンケートの実施に向け、協議を重ねている。

また、神奈川県と共催で就労に関する研修会を企画。

12月4日（金）13:30～ 海老名市役所 401 会議室にて開催した。

○まもる・つながる

困りごとの相談機関が記載された冊子を作成。配布に向け準備中。

また、9月28日に関係機関との情報交換会を開催している。



神奈川県立

えびな支援学校について

平成28年4月に県立特別支援学校で28番目となる「県立えびな支援学校」が開校します。

学校の概要について、説明が行われ、児童、生徒の将来を見据え、地域とともに「生きる力」を育んでいくという基本理念を、熱く、楽しく、ご報告いただきました。共生社会の実現に向け、協力していくことを確認しました。



「えびりーぶ」について

海老名市青少年センターが行っている業務内容について報告が行われました。

相談業務においては、年々相談件数が増加し、不登校や発達障がいなどの相談も増加しているとのこと。海老名市が独自に相談員や支援員を配置し、対応していることなど、報告をいただきました。教育と福祉の連携の必要性について、改めて確認を行いました。



リハビリテーション

専門相談について

神奈川県リハビリテーション病院が行う「リハビリテーション専門相談」について、紹介がありました。

この事業は、在宅生活を送る障がい者の方（主に身体障がい）の生活が暮らしやすいものとなるよう、専門家が訪問して支援を行います。実際の事例を交え、報告が行われ、病院だけでなく、地域の支援機関と連携して、利用者を支えている現状について報告が行われました。



飛び出せ!! ウェルび～な通信 -「育つ・学ぶ」「暮らす」編-

海老名市自立支援協議会には、テーマごとに5つのチームがあり、活動をしています。このコーナーではチーム代表者にインタビューを行い、活動や代表の方の思いなどについて紹介をしていきます。



「チーム育つ・学ぶ」 代表 佐藤 弘美さん (NPO 法人 グランメール)

【主なテーマ】 障がいのある子どもたちの児童期の課題を中心に協議

【構成メンバー】 海老名市内の児童支援や教育に関係する機関や当事者親の会

【活動経過・特徴など】

「チーム育つ・学ぶ」では、3年間かけ保護者を中心に放課後の支援に関するアンケート調査を行い、集計分析を行っています。構成メンバーの特徴として、分野の違う行政担当が複数参加している所です。また、親の会が参加していることで当事者の意見も取り入れています。

【代表者より】

障がいの状態に関係なく、幸せに生きていける環境整備をメインに、多様な角度から、子どもたちの成長過程に沿った課題を見つけ、支援に繋がりたいと思います。特別支援学校の開校に伴い、事業者が増加していますので、事業者同士が連絡を密にし、スキルアップを図れたら良いと思っています。



「チーム暮らす」 代表 佐藤 雪雄さん (海老名市社会福祉協議会)

【主なテーマ】 障がいのある方たちが地域生活を送る上での課題を中心に協議

【構成メンバー】 海老名市内の障がい者支援機関や当事者団体など

【活動経過・特徴など】

ここ数年は、中部地区の民生委員児童委員の方々との交流に主眼を置き、みなさんに高齢者の方だけでなく障がい者のことも知って頂こうと、交流会を企画し、実施しています。その結果、みなさんからいろいろなお意見がうかがえ、お互いに理解し合う事ができました。

【代表者より】

今後、このチームが中部地区の民生委員児童委員の方々だけではなく、東部・南部・西部・北部といった各地区の民生委員児童委員のみなさんとも交流を図られるよう、努力していきたいと思っています。



ラジオやってみました

84.2 FMカオン



FMカオンのご協力により、9/7～10/9にかけ、「ラジオ・ウェルび～な通信—電波にのって遠くまで—」を放送しました。推定で2万人の方に聞いていただけたようで、リスナーからの問い合わせもあったとのこと。放送にご協力いただいた、FMカオン天野局長に感想をうかがいました。

「ラジオ放送の中でも福祉番組は珍しく、障がい者や支援者の声を発信する大切さを感じました。

目に見えない「障がい」について、多くの情報を届けることで、障がい福祉の理解を深める機会に繋がったと思います。一人一人の「障がい」を「個性」として捉え、障がい者が地域の一員として生活ができるよう、今後も情報の発信に尽力していきたいです。」

残念ながら放送を聴くことができなかった方は、海老名市自立支援協議会のホームページで聴くことができます。ぜひ、お聞きください。 <http://www.hoshiyakai-yumu.com/jiritsu.htm>